

全国協議会 ニュース

2008年3月1日発行
第189号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

財団主催 骨髓バンク推進全国大会 開催される

財団全国大会を終えて

2月9日、池坊お茶の水学院(東京都)にて、骨髓移植推進財団主催「骨髓バンク推進全国大会」が開催されました。本大会開催にあたっては、首都圏のボランティア団体から委員が選出されての実行委員会が組織され、全国協議会からも遠山副理事長がメンバーとして加わり、大会の企画・運営に携わりました。

全国大会に参加して

2月9日、「ありがとう30万人」のタイトルで財団主催の大会が開催されました。式は主催者挨拶、来賓祝辞など粛々と進行しました。途中、患者さんからのメッセージ「私の命を救ってくれたあなたへ」のタイトルで可愛い女子生徒さんが、そのメッセージを代読しました。最後にその女子生徒さんが「どんな時でも、助けてもらった命を大切に生きていきます。それが命をくれたあなたへのお返しだから」とドナーさんに対する感謝の言葉で締めくくってありましたが、その代読をしてくれた彼女も骨髓移植を受けて、元気になった一人だそうです。彼女の言葉に感動して、私も元気をもらいました。

(九州の会 北村)

開催される

今回、実行委員の一人として財団の全国大会に参加しましたが、率直に思うに「やっとなにか終わった」という感じですが、と言うのも、半年位前から関東地区の各地団体等に実行委員を募るといふ噂はありましたが、正式に依頼が来たのは4か月前で、第1回実行委員会開催から本番まではわずか3か月と短く、本間に間に合うのか不安でした。なんとか形になったのは、大会の企画・調整に奮闘された財団実務担当者のおかげと感謝しています。

当日、準備のため早めに会場

「これからのボランティア活動について」熱く討論

2月10日、廣瀬第二ビル地下会議室(東京・神田)において、2007年度の第2回代表者会議が開催されました。

前日の財団全国大会や、当日午前中に行われた地区普及広報委員研修会に参加した各地加盟団体の代表者やボランティアが集まり、4班にわかれてグループ討議を行いました。

連日のイベント・会議の疲れもみせず、地域毎の現状報告を交えながら、これからの活動を見据えた熱い議論をかわした3時間半となりました。

代表者会議に参加された方の感想です。

今年7月から公共広告機構

今年7月から公共広告機構

入りしたところ、250席ほどもあり、全部は埋まらないと思っていたにもかかわらず、最終的に立ち見まであったことは、正直驚いています。

それにしても実行委員会として

は紆余曲折の連続でした。大会1か月前の委員会では、くす玉を割って30万人達成を「祝う」かのようなセレモニーの企画を勝手に決め、その旨を明記した来賓団体への案内文書を財団事務局独断で発出したこと等に関して、反対と抗議を行う実行委員メンバーと財団常務理事との間で90分間にも渡る問答の繰り返しで、実行委員会が解散しそうなこともありました。



(遠山)

また、舞台上の看板も実行委員会で「ありがとうドナー登録30万人」を大きく「骨髓バンク全国大会」を小さくとレイアウトを決めたのに、大会当日に見たら逆だったのを見て、哑然としたのも事実です。

大会自体は参加者も多く、内容についても概ね好評のようでしたが、実行委員としては、実行委員会をないがしろにした財団事務局の振る舞いへの憤りと共に、次年度も実行委員会形式での運営体制を踏襲するのであれば、地元ボランティア団体がたまたまのアルバイトに利用されないような運営となるよう願っています。

(遠山)

「全国ボランティアの集いin札幌」への誘い

2008年のボランティアの集いならびに全国協議会総会、代表者会議は下記の日程で札幌で開催します。

今年も長期にわたり目標として

掲げてきた有効ドナー登録者30万人に到達した直後の大会になります。この到達が達成ではないことは、数年前から多くの人が実感していました。にもかかわらず関係者すべては、達成目標を明確な形で活動に反映できず、実体のない数字だけを追いかけてきました。

そこで、この全国大会は、将来検討会議の答申に基づき全国各ブロックセミナーの集大成として、造血細胞移植医療のあるべき姿を広く社会に訴える場としたいと思います。皆様多数のご参加をお待ちしております。(北海道協会)

ランナーに負けるな！ こころの骨髓バンクPR

1月27日、新宿区他の主催による「第6回新宿シティハーフマラソン」が開催され、明治公園のイベント会場で昨年引き続き骨髓バンクのPR活動を行いました。参加者は全国協議会から2名、東京の会から2名で

公園の周囲に幟を立て、会場

内でギフトオプライフなどを配布しました。またブースには日赤からお借りしたタッチパネルPCを設置し、骨髓バンクの説明パネル掲示、便箋等の販売も行いました。

会場内にはボランティア団体やNGO等がPRブースや模擬店を出し、特設ステージには区内で活動するバンドやダンスチームなどが次々と出演しました。マラソ



- 5月31日(土)
◎2008年 全国骨髓バンクボランティアの集い in 札幌 13:30~16:30
(札幌市教育文化会館小ホール)
記念式典・パネルディスカッション
◎懇親会 17:30~20:00 (すみれホテル・会費5000円)
- 6月1日(日)
◎全国協議会総会・代表者会議 (札幌市社会福祉総合センター)

※全国大会についての問い合わせは、全国協議会まで TEL 03-3356-8217

熱気の「フィットネス・フェスタ」 ゴールドジムがチャリティイベント

1月26日、全国でスポーツクラブを展開するゴールドジムのスクール発表会「フィットネス・フェスタ」が、銀座プロサマ

(東京)で、開催されました。

白血病で亡くなったアンディ・フグ氏が格闘技フィットネスプログラムの発案に協力したご縁もあり、今回の発表会は骨髓バンクチャリティイベントとして位置づけられ、事前に各店舗ではポスター掲示やパンフレット設置、募金活動が行われました。

当日は小さなお子さんから大

人の方まで、バレエやヒップホップ等の様々なダンスが日頃のスクールでのレッスンの成果として次々に披露され、客席の熱気と一体化し、熱い熱い時間となりました。

発表の間には募金の贈呈式も行われ、大谷会長が参加者の皆様の暖かい思いを頂戴いたしました。

イマドキのスタイルでエネルギーッシュなダンスを繰り広げる未来のダンサー達に圧倒されっぱなしの発表会でした。



協議会デザイングッズをオンライン販売

ウェブサイトClubTをご存知ですか?

ClubTとは、オリジナルデザインのTシャツやマグカップを扱うオンラインショップです。

このたび、全国協議会オリジナルデザイン商品を扱っていただけることとなり、「いのちの輝きコンクール」のアート部門入賞作品や協議会ロゴマーク等4つのデザインで、Tシャツ、マグカップ、エコバックが提供されています。

みなさんもホームページにアクセス&入手し、是非ご愛用ください。

なお、協議会デザイングッズの売上の一部は全国協議会に寄付されることとなります。

<http://clubt.jp/bank/>



心からのご寄付に 感謝申し上げます

1月21日～2月18日

株式会社サカタのタネ	現金	516,948円
株式会社サクラホーム	現金	10,000円
株式会社エアネット	現金	37,500円
株式会社タクトコーポレーション	現金	10,000円
有限会社中部リペア	現金	9,685円
有限会社マイエクステリアグリーン	現金	50,000円
骨髄バンクチャリティーライブ実行委員会	現金	50,000円
患者家族の会 すずらん倶楽部	現金	13,500円
たっくママの投稿募金1月分	現金	4,187円
岡崎市立甲山中学校生徒会	現金	100,000円
ウッディチキン関西	現金	100,000円
ウッディチキン関西有志一同 (文具券含)	現金	158,662円
サンクトフローリアンピアの三重奏チャリティコンサート (埼玉骨髄バンク推進連絡会)	現金	19,000円
福島県骨髄バンク推進連絡協議会津支部	現金	100,000円
三品雅義	現金	10,000円
野口 治	現金	3,890円
陽田秀夫	現金	8,000円
飛田行康	現金	10,000円
飯島孝枝	現金	2,240円
田中奈美	現金	20,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
匿名	現金	10,000円
匿名	現金	12,011円
●白血病患者支援基金		
ゴールドジム	現金	342,835円
株式会社クスリのアオキ	現金	228,109円
たにぐち薬局	現金	15,646円
●佐藤さち子患者支援基金		
骨髄バンクチャリティーライブ実行委員会	現金	170,000円
(敬称略)		

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

2007年度賛助会員 (1月21日～2月18日)

味噌平醸造株式会社	林 俊宏	佐藤孝充	白木功一
平岡正道	佐合重光	各務 清	玉置真治
佐々木敏和	岩井重喜	二宮義耕	早川文也
			匿名 (敬称略)

全国協議会の活動にご賛同頂き、誠にありがとうございました。引き続き、企業・団体のほか、個人の皆様からのご協力も募っております。どうぞよろしくお願いいたします。

団体 (法人) 年会費 1口 5000円
個人会員 年会費 1口 2000円

※お申し込みは全国協議会事務局までお願いいたします。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

《財団マンスリーレポート (2月15日発行) より抜粋》

●日本骨髄バンクを介した骨髄移植数が9,000例に到達

1月23日、日本骨髄バンクによる非血縁者間骨髄移植数が、9,000例を超えました。昨年1月24日に8,000例を超え、その約1年間で、1,000例の骨髄移植が行われたこととなります。

ドナー登録者は1月15日に30万人に達し、さらに今回、非血縁者間骨髄移植数が9,000例となりましたが、いまだ移植を受けられない患者さんも多くいらっしゃいます。今後ともあらゆる努力をして、一人でも多くの患者さんの骨髄移植が実現するよう、ご協力をいただいている骨髄バンク関係者の皆さまとの連携を深め、ドナー登録者の拡大や、コーディネート期間の更なる短縮など、さまざまな課題に取り組んでまいります。

●平成20年度診療報酬改定について

2月13日、中央社会保険医療協議会により、「非血縁移植に係る医療保険の適用範囲拡大」について答申がなされました。患者負担軽減に係るコーディネート費用について要望していたところ、コーディネート費用の一部として9,600点が加算されました。(要望は10,000点の加算) 今回のような答申に至ることができたことに対し、ご協力をいただきました皆様に改めて感謝申し上げます。

◆日本骨髄バンクの現状 (平成20年1月末現在)

	12月	1月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,099	2,923	301,768	381,382
患者登録者数	178	189	2,381	24,295
骨髄移植例数	63	73	—	9,038
20歳未満ドナー	—	118	6,891 ^{*1}	—
51歳以上ドナー	261 ^{*2}	84 ^{*3}	9,844 ^{*4}	—

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月～ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月～

●国際協力の現状など

海外ドナーから国内患者へ		新規登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	移植数	累計移植数
NMDP (米国)	→ 日本	10	10	4	0	110
BTCSCC (台湾)		10	6	2	0	27
KMDP (韓国)		10	6	1	0	13
CMDP (中国)		10	8	2	0	0
計		—	—	—	—	150
国内ドナーから海外患者へ		新規登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	提供数	累計提供数
日本	NMDP (米国)	20	14	23	0	10
	BTCSCC (台湾)	0	0	0	0	0
	KMDP (韓国)	60	38	53	4	132
	CMDP (中国)	9	2	0	0	0
	その他の国**	—	—	—	0	22
計		—	—	—	—	164

* 1人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。 ** その他の国と地域は累計のみ掲載。提供内訳は香港7件、ドイツ3件、英国2件、オーストラリア2件、ブラジル2件、ベルギー2件、オランダ1件、カナダ1件、シンガポール1件、フランス1件。
2) 骨髄バンクを介して2回提供された方 (累計数) 396人
3) DLI (ドナーリンパ球輸注) 療法の実施件数 (累計数) 240件



各地のたより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

鳥取 目指せ、定着! 最終日曜登録会

雪の降りしきる1月27日、鳥取県中部の倉吉市内「倉吉未来中心」で、ドナー登録会を開催しました。

人口の少ない当県では、血液在庫に合わせず翌月の献血バス配車日程を決める(1直前での日程変更もある)ため、唯一最終日曜日に固定開催している同献血会場で、並行開催が実現しました。

●北海道ブロックセミナー

1月26日に、北海道ブロックセミナーが、札幌市社会福祉総合センター視聴覚室にて38名の参加をもって開催されました。内訳は加盟5団体の35名、北海道担当主査、札幌市担当係長、北海道腎臓病バンク職員です。講師は、将来像検討会議の野村・四方両委員長。すでに公開されている答申を事前に熟読してくるよう指示されていました。

●近畿ブロックセミナー

2月2日、森之宮血液センターにて、奈良・姫路・京都・神戸の会から各2名、合計8名にて開催が致しました。

ゲストに将来像検討会議メン

の毎月定期開催の1回目となりました。

福岡
あらためて実感!!
患者は情報を欲している

2月9日、九州大学病院百年講堂で、患者さんと家族を対象に医療講演会「血液疾患と闘う為に!」が福岡血液骨髄移植グループ (FBMTG) と「リボンの会」の融合で行われました。



でも、鳥取の会のボラが、献血も呼び掛けながらやっていたら、いつのまにか、血液センターの方々もドナー登録の呼びかけをして下さるようになり、献血受付でも常に職員が「骨髄バンクのドナー登録もどうですか?」と勧めてもらえる関係も築けて、今後も楽しみながら県内初

血液の各病気について、今最も有効な治療法、造血幹細胞移植

ブロックセミナー4

が実感されて、課題の重さが痛感されました。

財団は、30万人到達後の運動方針を「一人でも多く」と掲げ

ました。一般市民にアピールする具体的スローガンも、当面の指針として必要だと発言させてもらいました。懇親会にうつてからも有意義なサジェスチョンをたくさんいただきました。(星野)

宮崎

2月16日、宮崎県主催の「骨髄バンクキャンペーン登録会」が、巨人軍の協力を得てサンマリンスタジアムにて開催されました。

私たち理事は今後の各地の要望を良く聞き、関西の基盤をより強いのにしていく所存です。

そのためには関西協会との協関係を今後どうして行くかも課題のひとつであります。(青山)

宮崎 巨人軍キャンプで登録会 「鶴の一声」で27名!

2月16日、宮崎県主催の「骨髄バンクキャンペーン登録会」が、巨人軍の協力を得てサンマリンスタジアムにて開催されました。

みやぎぎの会からは7名が参加しました。今年には巨人軍が宮崎でのキャンプを始めてから50周年ということで、様々な企画

心の声

ドナー登録者が30万人になったらですが、感想としては「うーん……」って感じでしょうか。

患者さんは相変わらず大勢いて、ドナーがいらない、移植の危険率が高いなどなど、明るい話はありません。聞こえてこないし、なんか素直に喜べないんですよね。

やっぱり「患者さんが助かって欲しい」と想って活動しているわけだし、現実には助からないで遠くに行っちゃう患者さんは全然減っていないし、「なんかなあ」ってつぶやいたりちゃう感じ。

ドナーがいなくても、移植しなくてもお薬で全部の病気が治るように、お医者さんたち頑

が組まれており、県内外からの大勢のお客さんで賑わう中、リーフレットやティッシュを配布してPR活動に励みました。登録会もあと一時間で終わろうとする頃、イベント会場のステージに現れた上原投手が来場者に向け骨髄バンクドナー登録を呼びかけ、その後登録会のブース内に入ってきた。その途端、テントの前には300人ほどの人だかりができ、あつという間に登録希望者の行列ができました。説明員や採取の担当は必死で対応に追われ、最後の1時間で一挙に27名の登録がありました。「鶴の



一声」って(言うのが適當かどうかはわからないのですが)すごいですね。今年で3年目の参加でしたが、来年度は対策を練らなくては……。

巨人軍さん、今後とも宜しくお願いいたします。(中村)